

RGGI の地域オークション設計要素（暫定版）

米国北東部の地域温室効果ガスイニシアティブ（RGGI）は2008年3月17日、オークションの設計要素について詳細”Design Elements for Regional Allowance Auctions under the Regional Greenhouse Gas Initiative”を発表¹した。

（RGGIは、米国北東部10州²が参加し、発電所からのGHG排出削減を目的とするキャップ・アンド・トレード型排出量取引制度（2009年1月1日開始予定）である）。

RGGIでは、オークションを割当方法の基本としており、参加州は単独の州でオークションを行うか、均一地域オークション（uniform regional auctions）に参加するか、選択することができる。

地域オークションは、初回オークションを2008年9月10日に、第二回目を12月17日に実施する予定であり、その後は四半期毎に行うこととしている。

今回発表されたのは、地域オークション設計要素についての審議文書（deliberative document）である。RGGI関連の法規則を整備中の州もあり、その最終決定を妨害するものではないという位置づけである。

3月17日のプレスリリースでは併せて、今後RGGIの運用に参加する組織の選考結果についても公表された。World Energy Solutions, Inc. が地域オークション、Perrin Quarles Associates, Inc. (PQA) がCO₂ 排出枠トラッキングシステム、ICF International がオフセット、Greenhouse Gas Management Institute がオフセット・プロジェクト検証者の認定について、担当することとなった。

以下、”Design Elements for Regional Allowance Auctions under the Regional Greenhouse Gas Initiative”に基づき、RGGI 地域オークションの概要についてまとめる。

1 ロット	1,000t-CO ₂ （注 全てショート・トン、1ショート・トン=0.9072 トン）
方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初回オークションにおいては、単一回入札（single-round）、均一価格方式（uniform-price）、封印入札（sealed-bid） ・ 一貫したオークション方式の維持を目標としつつも、必要に応じて、複数回（multiple-round）、競り上げ入札（ascending-price）方式へ移行する等の柔軟性を認める。

¹ ”Design Elements for Regional Allowance Auctions under the Regional Greenhouse Gas Initiative” http://rggi.org/docs/20080317auction_design.pdf よりダウンロード可能。

² コネチカット、デラウェア、メイン、メリーランド、マサチューセッツ、ニュージャージー、ニューハンプシャー、ニューヨーク、ロードアイランド、ヴァーモント各州

販売スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出枠は、割当てられた年（暦年）に対応した発行年（ビンテージ）によって、識別される。 ・ 各遵守期間（基本的に3年間）終了前に、当該期間中に売却予定であった全排出枠をオークションにかける。 ・ 4年先までの割当年の排出枠について、年間排出枠の50%分までオークションにかけられる。
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての市場参加者は、金融保証含む、参加要件を充たす必要がある。要件について、後により厳しくなる可能性がある。
購入上限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者は、一度のオークションで売却される排出枠の25%を超えて買うことができない。
最低落札価格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初回オークションでは、1.86ドル/t-CO₂の最低落札価格が適用される。この数字は、ICF Internationalのモデルによる2009年排出枠価格2.32ドル/t-CO₂(2009年ドル価格)×80%により、算出。 ・ 2009年から毎年調整される最低落札価格は、事実上1.86ドル/t-CO₂よりも高額になる。調整のためには、消費者物価指数（CPI）と同じビンテージのRGGI排出枠の現行市場価格×80%のどちらかを用いる。ただし、については、参加州の代表者が現行市場価格を決定するのに信頼に足る市場データが十分であると判断した場合に限られる。 ・ 最低落札価格は各オークションに先立ち、参加予定者に知らされる。
売却されなかった排出枠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売却されなかった排出枠については、現行市場価格に基づいた最低落札価格で将来のオークションにかけられる。 ・ 遵守期間をまたいで将来のオークションにかけられるか否かは、2012年に行われるRGGIレビューに際して決定。
告知	<ul style="list-style-type: none"> ・ オークション実施日の少なくとも45日前に、RGGIのオークション・ウェブサイト上で告知。各州も、自州の当該の規則、条例、行政上の手続きに則り情報を広める。 ・ 告知される情報は最低限、以下の項目を含む：オークションの日時と開催場所、参加資格に適合となる入札者の区分、参加の必要条件、オークションにかけられる排出枠の量、他の関連情報、入札予定者が参加するために必要な手続き。
監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立した専門の市場モニターが、オークションや関連の市場活動を監視。 ・ オークション終了後、参加者にオークションが規定に沿って行われたのかの報告を行う。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加州がオークション結果を承認し、落札者が各州に対して全額支払いを行うと、各州は相当する排出枠をCO₂排出枠トラッキングシステム上の当該落札者の口座に移転させる。 ・ 州は、オークション結果の承認や決済の結果次第では、排出枠移転を規制する全権限を有する。 ・ 一定期間内に、参加州はオークション結果（売却総量と落札価格）をRGGIのオークション・ウェブサイト上で発表。

(参考)「RGGI：地域温室効果ガスイニシアティブ」の概要

2005年に制度設計の覚書が公表され、2009年からの実施に向けて準備が進められている

- ・北東部 10 州による排出量取引制度
- ・対象は発電所。削減目標は2000年～2004年平均比で、2009年～2014年に横ばい、2018年に10%削減
 - 4年間のうち、排出量の多い3年間の平均値
- ・費用緩和措置：国内外削減プロジェクトの活用
- ・排出量の割当方法としては、オークションの比率が高い
 - 2008年9月に第1回オークションが開催される予定